



# 進路通信

令和5年9月15日【全体・第2号】

東京都立南大沢学園  
校長 井上 美保  
発行 進路指導部

日頃より本校の進路指導にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

9月になってから、涼しいと感じられる日が増えました。これまでのインターンシップ・現場実習については、感染症対策など、保護者の皆様に多大なご理解とご協力をいただき実施することができました。深く感謝いたします。本校では、9月以降も感染症対策を講じて、インターンシップ・現場実習実施に向けた計画を立てます。引き続き、ご理解とご協力をいただけますよう、よろしくお願いいたします。

～生徒本人及び同居者の方の体調不良時の実習について～

生徒本人が体調不良の場合、また、同居者の方が体調不良の場合は、実習を中止または延期する場合があります。コロナが5類に移行し、同居者の方の体調に関わりなく、生徒は学校への登校が可能です。ただ、実習先企業等によっては、従業員の方やご利用者様の健康を守るため、それぞれの規定を設けているところもあります。本人が体調不良の場合に実習に行かないことはもちろんですが、同居者の方が体調不良という場合も、実習先へ行く前に、必ず学校に連絡していただきますよう、お願いいたします。

右面に、「実習先決定のお知らせ」で生徒の皆さんと保護者の皆様にお伝えしている内容を掲載しました。今一度ご確認くださいませよう、よろしくお願いいたします。



教員インターンシップ体験記もご覧ください。  
(裏面もあります)



日頃から本校の教育にご理解、ご協力を頂きありがとうございます。

現場実習・インターンシップにおいても、感染症拡大防止を徹底させるために、以下の点についてご理解とご協力を頂きますようお願い致します。

#### 1. 現場実習・インターンシップ前

日頃の健康管理を徹底してください。体調に変化がありましたら、学校にご連絡ください。

発熱、下痢、嘔吐、風邪のような症状、だるさ等がある場合は、インターンシップに行くことができません。また、同居者に体調不良の方がいる場合も学校にお知らせください。この場合もインターンシップに行けない場合があります。

#### 2. 現場実習・インターンシップ中

ご家庭での健康管理を継続してください。

インターンシップ中に発熱、下痢、嘔吐、風邪のような症状がある場合はインターンシップを中止します。特に、朝体調がすぐれない場合は、インターンシップ先に向かわず、インターンシップ先と学校にご連絡ください。同居者の方に体調不良の方がいる場合も同様です。

#### 3. 現場実習・インターンシップ日誌

現場実習・インターンシップ開始前に、日誌の「事前健康チェック」欄に、現場実習・インターンシップ開始前1週間の体調について記入してください。

現場実習・インターンシップ期間中は、毎朝、日誌の「健康チェック表」に、その日の健康状態をご記入ください。

#### 4. 現在学校で使用している健康チェック表（またはマチコミアプリ）について

現在学校で使用している健康チェック表は、現場実習・インターンシップ期間中も継続して記入してください。（現場実習・インターンシップ期間中は、担任チェック欄は無記入のままです。）

マチコミアプリを使って記録をしている場合は、現場実習・インターンシップ期間中も継続して記録してください。

現場実習・インターンシップ前の休日や、現場実習・インターンシップ期間中の休日についても、本人の体調不良や、同居者の方の体調不良があった場合、現場実習・インターンシップを中止とすることがあります。下記の場合は必ず学校（副校長）へご連絡ください。

休日や、平日の学校の電話が繋がらない時間帯の緊急連絡先

（副校長携帯）080-4057-2092

※電話にすぐに出られない場合もあります。その際は、留守番電話に用件を入れてください。折り返しご連絡します。

○現場実習・インターンシップ前の休日や、現場実習・インターンシップ期間中の休日に、本人が体調不良になった場合

○現場実習・インターンシップ前の休日や、現場実習・インターンシップ期間中の休日に、同居者の方が体調不良になった場合

○現場実習・インターンシップ当日の早朝等、学校の電話が繋がらない時間帯で、本人または同居者の方の体調不良がある場合

## 先生たちのインターンシップ体験 ～先生もインターンシップを体験しました。その報告です。～

大村 宗平 教諭 研修先：医療法人永寿会 恩方病院 様

8月23日に、医療法人永寿会 恩方病院で研修をさせていただきました。恩方病院では、「社会的弱者とそこに携わる人を幸せにするために健全な経営をし、満足されるサービスを提供し、さらに職員と働きがいのある職場を作る」を理念に掲げ、職員の皆様が利用者を思い、業務に励んでいらっしゃいました。

障害者雇用については、2015年より受け入れが始まり、個々の特性に配慮しながら、業務内容・時間配分・休憩時間を決めており、働きやすい環境が整えられていました。体験させていただいた病棟では、本校の卒業生が2名勤務しており、テキパキと業務を行う姿を見ることができました。

今回の研修では、卒業生に同行させていただき、施設の清掃や食事の下膳、シーツの交換などの生活援助を体験させていただきました。清掃では、施設内の手すりの消毒、トイレ、床の清掃を行いました。手すりを拭くための布巾、モップの準備や使い方、手順など一つ一つ丁寧に教えていただきました。食事の下膳では、ごみや食器の分別、コップの洗浄を行っており、シーツ交換では枕カバー、シーツ、布団カバーの交換を行っていました。卒業生は、どちらの業務も時間がかかりすぎないように、効率のよい方法を自分で考えて実践していました。

恩方病院での作業を経験し、「作業の手順を覚えて、スムーズに行うこと」「利用者のことを考え、丁寧に作業を行うこと」の重要性を改めて感じることができました。南大沢学園でも大事にしていることですので、今回の研修で学んだことを、コースの授業や日々の指導に生かして参ります。

加藤 一博 教諭 研修先：東電ハミングワーク株式会社 様

8月8日に東電ハミングワーク株式会社で研修をさせていただきました。東電ハミングワーク株式会社は、2008年設立（2009年に特例子会社認定）された約15年という障害者雇用の歴史のある企業でした。業務内容は、今回訪問させていただいた本社には印刷事業部・園芸事業部・清掃事業部・BS 百草センターがあり、多岐にわたる障がいのある方の特性に合わせた様々な業務を東京電力本社より受託していました。

今回の体験では、清掃事業部の宿泊棟清掃班と園芸事業部に参加させていただきました。清掃事業部の宿泊棟清掃班では、職員とスタッフ（障害者雇用）4～5人のグループで作業を行っており、グループのメンバーで進捗状況報告を行いながら計画的に進めていました。スタッフの方にお風呂やお部屋の清掃を教えていただく中で、淡々と続く毎日の仕事の中で、危険予知や協力して作業を進めること、体調管理等が大切であることを改めて理解しました。園芸事業部では、出張で管理作業に出るスタッフと、事業所にて植物の管理作業を行うスタッフでその日ごとにグループの構成が工夫され、作業前の危険予知やヒヤリハットの報告などの取り組みが印象的でした。参加させていただいたジニアの害虫防除やスペーシング（植物の間をあける）の作業では、数多くある苗の中からスタッフの方が害虫の発生を発見し、報告する流れを見ることができ、日々の変化に対しての報連相（報告・連絡・相談）のやりとりを体験することができました。

一日を通して印象的だったのは、事業部ごとに組織ならではの危険予知（KY）の取り組みをしていたことや、現地で働く南大沢のOBに出会えたことでした。今回の貴重な研修を通して学んだことを、学校での日々の指導に生かしていきます。

佐藤 利輝 教諭 研修先： グラン・グルメ株式会社 様

8月21日に、グラン・グルメ株式会社 多摩セントラルキッチンで研修をさせていただきました。グラン・グルメ株式会社は、医療福祉業界へ医療行為を除くすべての業務でトータルサポートができる、「シップヘルスケアホールディングス株式会社」のグループ会社の一つです。グラン・グルメ株式会社での業務は大きく分けて、「委託給食」「OEM、ケータリング」「レストラン運営(自治体施設内)」の3つになります。その中でも多摩セントラルキッチンでは、調理補助や盛り付け業務、仕分け、清掃など、多岐に渡る業務内容があります。特性や障害に合わせた業務ができるように努められています。

体験日当日は、衛生教育を受けた後に「OEM・ケータリング」の業務を中心に体験させていただきました。午前中から午後すぎにかけて、カップに具材を均等に分けたり、レーン作業でお弁当に具材を詰めたり、調理場の清掃などをしました。提供の時間に向けて、急がなければいけない中でも、卒業生が慎重に丁寧に作業をしている姿は、とても感動しました。また、卒業生は自らで考え行動し、社員の方々と連携して、商品を完成させていました。

最後に、社員の方々と懇談をさせていただき、障害者雇用について聞かせていただきました。「素直」で「他と比較しない」人を理想の人材像として挙げていました。会社の方針や、上司や周囲の仲間からの助言を素直に聞き入れたり、周りと比較するわけではなく、自分にできることは何かを見付けたり、毎日少しずつでも前に進んでいくことが、就労に向けての必要な力だと感じました。今回、グラン・グルメ株式会社での研修で得た貴重な経験を通して、私自身も社会人として、教員としてレベルアップしていきながら、日々の生徒への指導等へ生かしていきます。

柳井 友里 教諭 研修先： 三菱UFJビジネスパートナー株式会社 様

8月23日に、三菱UFJビジネスパートナー株式会社で研修をさせていただきました。三菱UFJビジネスパートナーは「障がい者各人が、能力、適性に応じた役割を果たすことにより、だれもが職業生活において自立し、働き甲斐を得ることを通じて社会に貢献していく会社を目指します。」と経営理念にあるように、一人一人が個性を生かして、やりがいを感じながら楽しそうに業務に励んでいらっしゃいました。運営拠点は、相模原本社に加え、名古屋、大阪、東京にあります。業務内容は、公的調査、印鑑票電子化登録、印刷、各種登録があり、三菱UFJ銀行からの委託を受けています。

今回の研修では、インターンシップを行う生徒と同じ内容の公的調査を体験させていただきました。個人情報扱い、ミスをしてはならないため、とても緊張感のある業務でした。工程が多く、数時間で覚えられるような内容ではありませんでしたが、手順を教えてくださいと社員の方が、丁寧に教えてくださいとミスなく業務することができました。社員の方々は、数人のグループで活動していてリーダーが中心となり、個性に合わせてフォローしながら意欲的に働いている姿が印象的でした。また、本校の卒業生や障がい者雇用の方、採用に携わる方が「明るく一生懸命であること」「自己管理ができること」「自分の特性を理解していること」が大切とおっしゃっていました。

一日を通して、どのフロアーに伺っても、社員の方々が明るく笑顔で迎えてくださる姿が印象的でした。今回の研修で学んだことを、学校生活や授業を通して生徒に伝えていきたいと思っています。